

パナソニック健康保険組合 松下記念病院

病院名・診療科名・プログラム名

松下記念病院 総合診療科(総合内科)／
内科後期研修プログラム

<http://phio.panasonic.co.jp/kinen/section/shinryo/naika/index.htm>

指導医名

部長：小山田 裕一（おやまだ ひろかず）

副部長：川崎 達也（かわさき たつや）【入院・教育担当】

副部長：三木 茂行（みき しげゆき）【救急外来担当】

研修プログラムの目標とする医師像

- ・ 地域基幹病院における病院総合医（ホスピタリスト）として、内科急性期疾患を診る。
- ・ 「教育」は、当科の柱であり、数々のカンファレンス、初期研修医、後期専攻医への指導、学会発表、論文執筆を通じ、教育者として一流の医師を目指す。
- ・ 病院総合医としての実力を高めながら、専門内科医師としての研鑽を推奨する。

（generalityとsubspecialtyの融合）

スタッフ人数

スタッフ8名

（総合内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、糖尿内分泌内科、腎臓内科、放射線科含む）

レジデント人数

13名（男性8名、女性5名）

当直

月3回程度（土日1回、平日2回/月）
当直明けの帰宅可（なるべく正午まで）

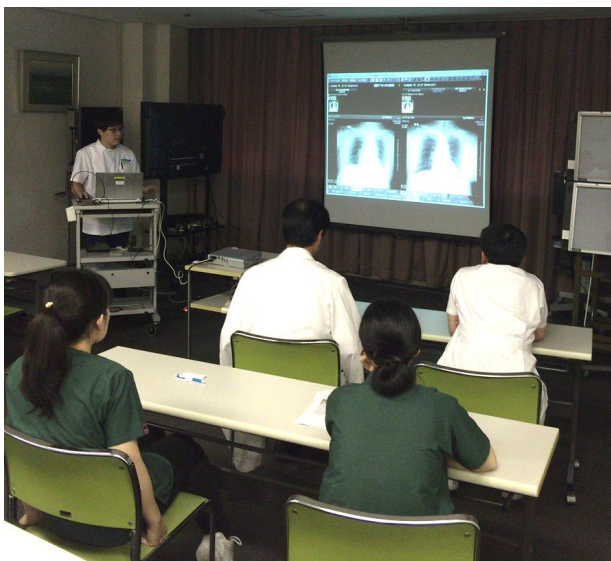
診療科独自の病床数

現在は20床前後の入院患者数

勉強会やカンファレンスの開催曜日・時間とその概要

<毎週開催>

- ・ 松下ERランチタイムカンファ（月・水・金曜日の12：00-12：45）
初期研修医が、ERでの症例をプレゼンテーション
ランチタイムカンファ：ブログ<http://matsushita-er.blogspot.jp/>



松下ハート塾（水曜日8：00-）

<http://phio.panasonic.co.jp/kinen/ecg/index.html>

- ・ モーニングレクチャー（水曜日7：45-8：15）

各専門診療科上級医によるレクチャー

<毎月開催>

- ・ 感染症レクチャー（第3木曜日）
- ・ 読影塾（第3土曜日 小谷 知也医師）
- ・ 星ヶ丘総合診療カンファレンス(webカンファレンス)（木曜日18：00-）
JCHO星ヶ丘総合診療科主催のカンファレンス（徳田安春医師参加）

<不定期開催>

- ・ ICLS院内コース
- ・ JMECC院内コース

具体的な研修内容紹介

- ・ 専門内科と連携しながら、感染症、不明熱、内科重症患者などの病棟管理を行う「ホスピタリスト」形式。
- ・ 総合内科は、指導医、後期専攻医、初期研修医のチーム制、屋根瓦方式の教育体制で幅広く内科疾患を担当。
- ・ 日中のER初期対応を行い、急性期疾患を経験。
- ・ 多診療科・時間軸横断型の総合診療経験が可能。
- ・ 多くのカンファレンスや症例提示を通じ、鑑別診断、臨床推論を習得。
- ・ 豊富な専門診療科指導陣による「教育体制」のもと、豊富な症例を経験。
- ・ 指導陣から「教わり」、後輩を「教える」ことで教育者として自立する。
- ・ 学会発表、論文投稿の指導、積極的に支援。

★ある程度サブスペシャリティー科を決めている場合（サブスペ重点）

総合内科に所属し、一流の内科医師（旧制度 総合内科専門医取得、プライマリケア学会認定医取得目標）を目標としながら、サブスペ内科も

並行したローテーション。関係する診療科へのサブスペローテも奨励、フレキシブルに対応。他院での救急研修や特定領域研修も可能。

★サブスペシャリティー科が決まっていない場合

(病院総合医；ホスピタリスト) プログラム

総合内科に所属し、主に総合診療科入院患者の対応、総合診療科初診外来、日中救急患者当番（週1回程度）。一流の内科医師（旧制度 総合内科専門医取得、プライマリケア学会認定医取得目標）を目標。各診療科検査研修や内視鏡研修なども可能。できるだけ、サブスペ内科並行研修を推奨（キャリア支援センターにて調整）。ただし、途中からサブスペ重点に変更可能。他院での救急研修や特定領域研修も可能。

研修終了後の進路について

当病院は京都府立医大の関連病院だが、当院総合内科は特定の医局には属していない。研修終了後の総合内科スタッフや専門内科スタッフへの採用は相談可能。また、大学院などへの進学も推奨する。他院への短期留学や海外留学等については相談の上、調整。

連絡先

松下記念病院 総務課 医師採用担当

TEL : 06-6992-5256

Mail : dr.career@gg.jp.panasonic.com